

平成25年度参与会を開催

岐阜高専は、3月7日（金）に参与会を開催した。

この参与会は、産業界、県、教育関係者等の有識者からの助言又は勧告等に基づき、教育研究活動上の目的を達成するための基本的な計画及び学校運営の活性化を図ることを目的として毎年開催されている。

今回の1つ目の議題「岐阜高専の将来構想の進歩と課題」においては、北田校長から主に本校の国際化、女性教員の確保、地域連携基盤の構築、他機関との連携による教育の高度化について説明が行われ、各参与から海外留学の状況や学生寮のあり方について質疑が行われた。続いて、岐阜高専の教育研究及び管理運営の現状と将来構想」では、加藤教務主事、所研究主事、吉村学生主事から教育、研究、学生支援を紹介され、各参与から入試の広報活動や就職、企業と連携した外部資金の獲得について活発な意見交換が行われ、貴重な提案や助言等が寄せられた。今後、参与会の評価結果を踏まえ、同校の教育研究などに反映させることとしている。

